

## 第1回新見市地方独立行政法人評価委員会議事要旨

1. 開催日時：平成20年5月13日（火）10：00～11：40
2. 開催場所：新見公立短期大学 第1会議室
3. 出席者：（評価委員会）新中委員長、田中委員、宮田委員、  
（大学出席者）難波学長、野林事務局長、福田課長、大嶋主任、岸本  
（事務局）新持次長、福本課長補佐、武田主任
4. 要 旨

協議に入る前に、4月の人事異動のため市、短大及び評価委員それぞれ自己紹介を行う。

### 【協議事項】

（1）中期計画について（予算、収支計画、資金計画）金額の入ったもの。

新中委員長の指名により、事務局から資料P22から資料P25について説明した後、意見を含めて質疑応答を行った。

（委員長）： 説明の途中ですが、現在の入学料はいくらですかね。

（短大）： 入学料は、区域外で187千200円、区域内で125千円合わせて施設設備充実費として、区域外で138千円、区域内で9万円。授業料は、379千300円です。

（委員長）： 吉備国際大学では、学科によって違うが120万円程度にはなっている。入学金を含めてかなり押さえた金額となっている。今後、評価していく上で重要な部分になっていくと考えられる。少子化の問題もある。

（難波学長）： 運営費交付金は、私が学長になってから毎年一定の減額率により減額されてきたが、今回の計算も減額率が入っているのか。

（短大）： 中期計画の6年間の計算には、減額率は含まれていません。ただし、来年度の市の予算はどうなるかは分かりません。

（難波学長）： 毎年、減額してもらおうと困った状態になる。学校教育は将来に向けての投資なので、よろしくお願ひしたい。

（委員長）： 市の財政当局も一律4～5%減額されては、大学も困られると思いますその点では、昨年まで削減する立場であったが、野林事務局長にも頑張ってもらいたい。

（事務局長）： 学長が言われたのも、四大化を推進していく上で、経費も今まで以上必要となるので、心配されているのでお汲み取りいただきたい。人件費、委託料等については、十分見直して努力している。よろしくお願ひしたい。

（委員長）： 四大化も周囲からの要求もあるし、市の執行部も納得していることである。この中期計画には予算化されていないが、平成22年4月からは、募集ができるようによろしくお願ひしたい。それでは、予算についてはご了解頂けたと思いますので、次に収支計画について、事務局より説明を求めます。

（事務局）： 収支計画について、資料により説明。

（委員長）： 臨時損出と臨時利益が同じというふうな書き方しか出来ないんですね。

（田中委員）： 資産見返りの戻し入れ、前ページ運営費からこれだけ戻し込む。企業会計からいうと引当金の戻し込みということですね。

（委員長）： 今のような説明ですが、いかがですか。

- (宮田委員)： 中期計画6年間の金額ですが、平成22年に4大化になれば、又違って来るんですね。
- (委員長)： また違って来る。それでは収支計画はこの通りと致しまして、次に資金計画について説明願います。
- (事務局)： 資金計画について、資料により説明。
- (委員長)： 資金計画について、何かありませんか。
- (難波学長)： 予算に対して、資金計画の合計額に3,000万円の差額がはっせいしているのか。
- (事務局)： 先ほど説明した臨時損失、臨時利益の計上により、合計に差額が発生しています。企業会計であり、複式簿記となるので予算とは食い違う。
- (委員長)： 現時点では、このような資金計画でいいのかなということによろしいですか。今後の単年ごとの予算要求は事務局長さんの方で、市の折衝をやって頂けるんですね。
- (野林事務局長)： 4大化の関係もあり、準備室で試算をしている。人件費、施設改修等も検討している。そうした中で、当然中期計画の中にそういう経費を盛り込んで頂かなければならない。
- (委員長)： 4大化については、この場で話題にしなくて良いですか。
- (難波学長)： 後で、理事会での4大化の話がありましたので、報告致します。
- (委員長)： 中期計画(予算、収支計画、資金計画)については、ご承認頂いたので、次のスケジュールについて、事務局より説明を求めます。
- (事務局)： 資料により、今後のスケジュールについて説明。
- (委員長)： 平成20年度のスケジュールで評価委員会を4月に開会する予定が5月になっている。その分行程が、後ろへ押してきているということですね。従って、市長の認可等が少しずれ込んでくる。それで、6月は評価委員会をやるようになるのでしょうか。
- (事務局)： 予定では、する予定ですが、6月5日から議会が開催されますので、7月以降で、早期に開催をすることが望ましいと考えます。年間4~5回程度の開催により、最終的には評価基準を定め、3月を目途に大学の評価をすることが必要であります。
- (委員長)： 第2回目が7月、8月上旬に開催をすることが望ましいとのことになる。スケジュールは、今の説明でご理解頂けましたでしょうか。
- (事務局)： 委員長、次回までには再作成をさせていただきます。
- (委員長)： その他の項目ですが、何かございますか。
- (事務局)： 評価基準の策定に伴う資料を3部提出させていただきました。これは、岸本氏により各大学等より資料を取り寄せ作成をしたものであります。本日、協議は致しませんが、次回までに熟読頂き、スムーズな協議が出来るように資料として提出しております。よろしく申し上げます。
- (委員長)： それでは、資料を持ち帰って勉強をしておくこと。今日の協議事項ではないということです。それでは、その他の件について何かございますか。
- (事務局)： 事務局としては、何もございません。
- (難波学長)： 5月7日の理事会の報告をする。【今回の議事とは関係が無いので、省略】とする。(議事録データとしては、レコーダーに記録済み。)

## (2) その他

次回委員会の開催日程について

次回委員会は、平成20年7月17日(木)10時から12時の予定で本学の本館第1会議室で開催する。

以上